

ご 注 意

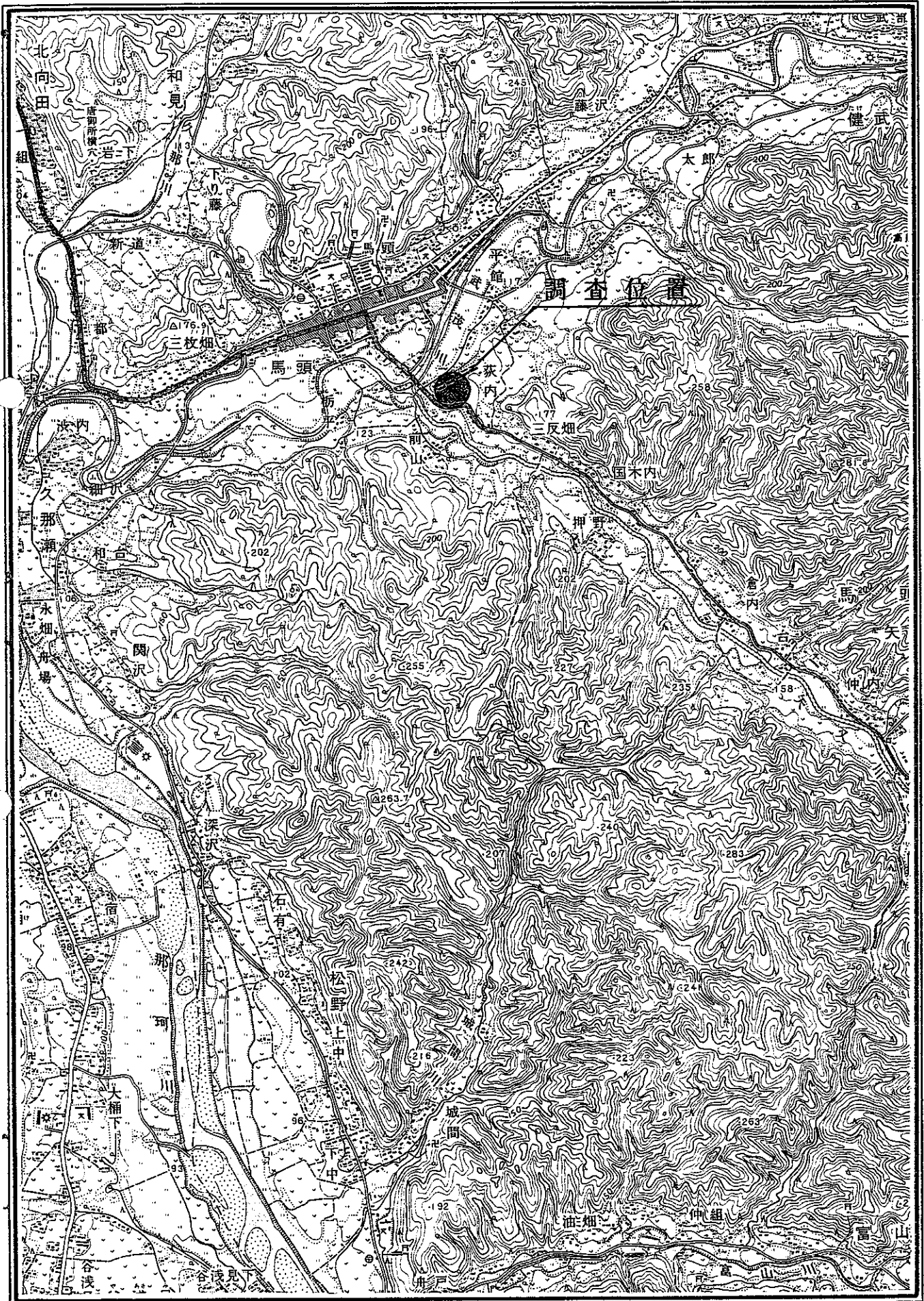
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

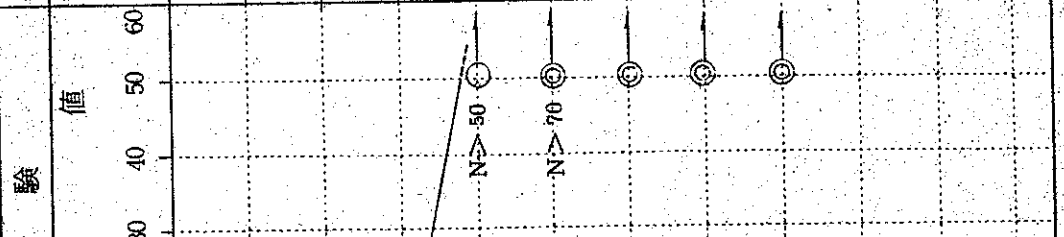
調査位置図 縮尺 1:25000



土 質 柱 状 図 報 告 用 紙

調査名 馬頭高等学校地質調査工事 標高 97.83 m 調査年月日 58年6月20日～58年6月24日
 ボーリング孔：№ 1孔 (調査深度 800 m) なし m 調査担当者

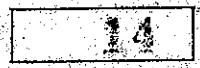
標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場		観察色調	記録	標準貫入試験				試料採取			
				土質記号	土質名			深さ m	打撃回数 / 貫入量 cm	10cmごとの打撃回数	N 値		試料番号	深さ m	採取方法
1					表土(盛土)	暗茶褐	シルト・ロームの混合盛土 約60%程度の大礫を散在 全体に軟かい	1.15 1.60	2 45	1 25	1 20	1	1.15 1.60	標準貫入試験用サンプル	
2	95.53 95.23	1.80 2.10	0.80		シルト ローム	暗褐 茶褐	元の表土 火山灰質粘土。2.5~2.7 mまで礫石層挟む。下部に 小礫甚大。	2.15 2.45	2 80	1 20	1 10	2	2.15 2.45		
3	94.43	2.90	0.80		砂礫	茶褐	礫径が5~40%程度。Max 70%。マトリックスは粗砂 及び細粒土よりなる。 礫層は砂岩・頁岩などで ある	3.15 3.45	12 80	4 10	4 10	4	3.15 3.45		
4								4.15 4.40	50 25	10 10	12 5	4	4.15 4.40		
5	92.43	4.90	2.00					5.15 5.25	70 10	19 10	以下 リソサイト	5	5.15 5.25		
6								6.15 6.44	70 29	18 10	24 9	6	6.15 6.44		
7					風化岩 (砂岩)	茶褐	5.0m付近逸水大である 全体に風化が激しく棒状 コアにならない 礫状コアもまれである	7.15 7.38	70 28	24 10	35 10	11 3	7		7.15 7.38
8	89.33	8.00 (3.1)						8.00	70 0	リソサイト		8	8.00		



試料採取方法の記号

● シンウォールサンプル ○ 貫入試験用サンプル × その他

備考:

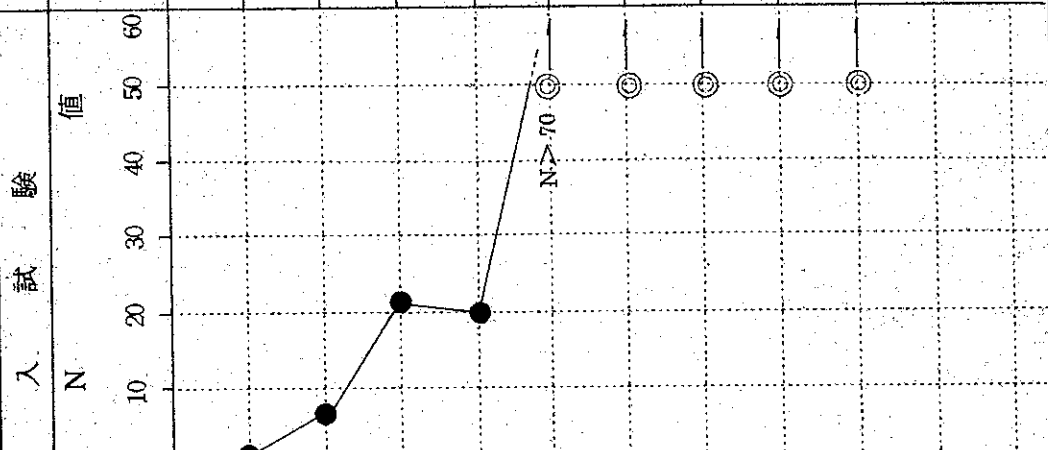


土 質 柱 状 図 報 告 用 紙

調査名 馬頭高等学校地質調査工事 標高 97.45 m 調査年月日 58年 6月 25日 ~ 58年 6月 27日
 ボーリング孔: No 2孔 (調査深度 9.00 m) 孔内水位 なし m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験			試料採取				
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 / 貫入量 cm	10cmごとの打撃回数	試料番号	深さ m	採取方法
1	96.65	0.80	0.80	⊗	表土(盛土)	暗褐	シルト・ロームの礫混入砂。盛土である	1.15 1.45	1 30	1 30	1	1.15 1.45	
2	95.15	2.30	1.50	〰	ローム	茶褐	火山灰質粘性土非常に細かいコンステンシ。1.9m付近よりφ10%程度の小礫混入	2.15 2.45	1 30	1 10	2	2.15 2.45	
3				○	砂	茶褐	礫径φ10~40%程度マトリックスは粗砂及び細粒土	3.15 3.45	21 30	6 10	3	3.15 3.45	
4				○	砂	茶褐	中位の相対密度	4.15 4.45	20 30	5 10	4	4.15 4.45	
5	92.15	5.30	3.00	○			下部に従い、礫φ60~100%が多くなる	5.15 5.84	70 19	6 10	5	5.15 5.84	
6							5.8m付近逸水大である	6.15	70	35	6	6.15	
7							全体に風化著しく礫状コアにならない礫状となる	6.88	18	10	7	6.88	
8							6.7m付近にて逸水する	7.15 7.20	70 5	70 5	8	7.15 7.20	
9	88.45	9.00 (3.7)		〰	風化岩(砂岩)	茶褐	全体に龜裂が発達している	8.00	70	リバンド	9	8.00	
10								9.15	70	70	9	9.15	
11								9.28	18	18	9	9.28	

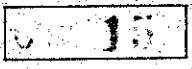
標準貫入試験用サンプル



試料採取方法の記号

● シンウォールサンプル ○ 貫入試験用サンプル × その他

備考:



土質柱状図 報告用紙

調査名 馬頭高等学校地質調査工事

標高

97.3.7 m 調査年月日 58年 6月17日~58年 6月18日

ボーリング孔: No. 3 孔 (調査深度 800 m)

なし m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験				試料採取							
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数	10cmごとの打撃回数	N	値	試料番号	深さ m	採取方法		
1																	
2				表土(盛土)	暗茶褐		ローム・シルトを主体に礫を混入する盛土 上部に植物根を混入 全体に軟かい 礫はφ30~50%程度 まれにφ100%を混入	1.15 1.45	3 80	1 10	1 10	1 10	1	1.15 1.45	1		
3	98.97	3.40	3.40					3.15 3.45	1 80	1 80	1 80	1 80	3	3.15 3.45	3		
4	98.57	3.80	0.40	ローム	茶褐		火山灰質粘性土	4.15 4.45	2 80	1 20	1 20	1 20	4	4.15 4.45	4		
	98.27	4.10	0.30	砂礫	茶褐		粒径は2%程度 φ30%程度の礫混入	5.15 5.35	70 20	29 10	41 10		5	5.15 5.35	5		
	92.87	4.50	0.40					6.15 6.22	70 7	70 7			6	6.15 6.22	6		
	92.27	5.10	0.60					7.00 7.00	リバンド				7	7.00 7.00	7		
8	89.27	8.00	(2.9)	風化岩 (砂岩)	茶褐		全体に風化が激しく礫状コアとなる 5.0m付近逸水大 7.0m付近にて0.15mのコア採取	8.15 8.36	70 21	28 10	37 10	5 1	8	8.15 8.36	8		

備考:

試料採取方法の記号

● シンウォールサンブロー ○ 貫入試験用サンブロー × その他

土質柱状図 報告用紙

調査名 馬頭高等学校地質調査工事 標高 97.58 m 調査年月日 58年6月28日 ~ 年月日
 ボーリング孔: No. 4孔 (調査深度 90.0 m) 孔内水位 なし m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験	採取方法								
				土質記号	土質名										
1	96.66 95.80	0.90 1.40	0.90 0.20	表土(盛土) シルト	暗茶褐 色調	礫を混るシルト・ローム の盛土 五の表土である	深さ m 1.15 1.45	打撃回数/cm 1 30	10 cm 打撃回数 1 30	20 cm 打撃回数 1 10	30 cm 打撃回数 1 10	試験値 N	試料番号	深さ m	採取方法
2				ローム	茶褐 色調	火山灰質粘性土 非常に細かいコンズテン シ	深さ m 2.15 2.50	打撃回数/cm 2 35	10 cm 打撃回数 1 10	20 cm 打撃回数 25 10	30 cm 打撃回数 5 10	試験値 N	試料番号	深さ m	採取方法
3	94.66	2.90	1.80	砂	茶褐 色調	2.7m付近より小礫混入 礫径 ϕ 10~30%, Max 60%	深さ m 3.15 3.45	打撃回数/cm 12 30	10 cm 打撃回数 2 10	20 cm 打撃回数 5 10	30 cm 打撃回数 8 10	試験値 N	試料番号	深さ m	採取方法
4				砂	茶褐 色調	マトリックスは粗砂及び細 粒土 円・亜円礫よりなる 下部大礫多し	深さ m 4.15 4.45	打撃回数/cm 27 30	10 cm 打撃回数 9 10	20 cm 打撃回数 10 10	30 cm 打撃回数 19 10	試験値 N	試料番号	深さ m	採取方法
5	92.56	5.00	2.10				深さ m 5.15 5.39	打撃回数/cm 70 24	10 cm 打撃回数 27 10	20 cm 打撃回数 24 10	30 cm 打撃回数 4 4	試験値 N	試料番号	深さ m	採取方法
6							深さ m 6.15 6.40	打撃回数/cm 70 25	10 cm 打撃回数 22 10	20 cm 打撃回数 26 10	30 cm 打撃回数 5 5	試験値 N	試料番号	深さ m	採取方法
7				風化岩 (砂岩)	茶褐 色調	全体に風化激しく細粒土 化している まれに角礫状にてコア採 取する	深さ m 7.15 7.39	打撃回数/cm 70 24	10 cm 打撃回数 20 10	20 cm 打撃回数 29 10	30 cm 打撃回数 4 4	試験値 N	試料番号	深さ m	採取方法
8							深さ m 8.15 8.27	打撃回数/cm 70 12	10 cm 打撃回数 55 10	20 cm 打撃回数 15 2	30 cm 打撃回数 2 2	試験値 N	試料番号	深さ m	採取方法
9	88.58	9.00	(4.0)				深さ m 9.15 9.28	打撃回数/cm 70 13	10 cm 打撃回数 41 10	20 cm 打撃回数 29 3	30 cm 打撃回数 3 3	試験値 N	試料番号	深さ m	採取方法

標準貫入試験用サンプル

試料採取方法の記号

● シンウォールサンプル ○ 貫入試験用サンプル × その他

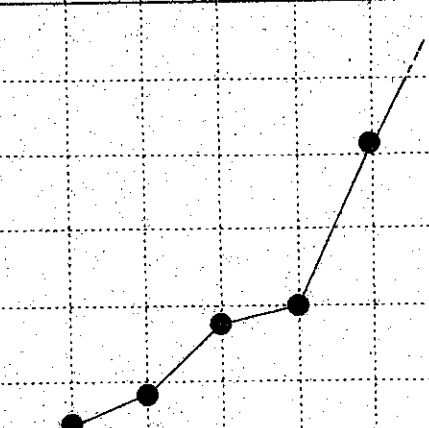
備考:

17

土質柱状図 報告用紙

調査名 梶頭高等学校地質調査工事 標高 98.87 m 調査年月日 58年6月24日~58年6月25日
 ボーリング孔: No. 5孔 (調査深度 10.00m) なし m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験				試料採取					
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 / 貫入量 cm	10cmごとの打撃回数 (10cm, 20cm, 30cm)	値 N	試料番号	深さ m	採取方法	
1	97.87	1.00	1.00	表土(盛土)	黒褐	玉石・コンクリート片等混る礫混土砂の盛土	1.15 1.45	4 30	1 10	1 10	2 10	1	1.15 1.45	標準貫入試験用サンプル	
2	96.87 96.77	2.00 2.30	1.00 0.30	ローム	茶褐	火山灰質粘性土 2.0~2.1mまで礫石層をはさむ。下部に小礫混入	2.15 2.45	8 30	1 10	1 10	6 10	2	2.15 2.45		
3						礫径 ϕ 10~50%, Max 70%。マトリックスは細粒土	3.15 3.45	18 80	5 10	6 10	7 10	3	3.15 3.45		
4				砂礫	茶褐	円・亜円礫よりなる 中位の相対密度 下部は角・亜円礫多くなり 礫は硬質	4.15 4.45	20 30	6 10	7 10	7 10	4	4.15 4.45		
5							5.15 5.45	41 30	9 10	14 10	18 10	5	5.15 5.45		
6	98.27	5.60	8.30			全体に風化著しく亀裂が発達している	6.15 6.40	70 25	19 10	24 10	27 5	6	6.15 6.40		
7						棒状コアは採取できず	7.15 7.23	70 8	70 8			7	7.15 7.23		
8				風化岩 (頁岩)	暗灰	角礫状あるいは礫片となる	8.15 8.21	70 6	70 6				8		8.15 8.21
9							9.00	70	リンパント			9	9.00		
10	88.87	10.00	(4.4)				10.00	70	リンパント			10	10.00		



試料採取方法の記号

● シンウォールサンプラー ○ 貫入試験用サンプラー × その他

備考:

土 質 柱 状 図 報 告 用 紙

調査 名 馬頭高等学校地質調査工事 標 高 9.9.0.7 m 調査年月日 58年 6月 22日 ~ 58年 6月 23日

ボーリング孔: No. 6孔 (調査深度 10.00 m) 孔内水位 なし m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察		記録	標準貫入試験				試験採取		
				土質名	色調		深さ m	打撃回数	1.0cmごとの打撃回数	試験番号	深さ m	採取方法	
1	88.57	0.50	0.50	表土(盛土)	黒褐	礫混土砂の盛土	5	1	2	2	1	1.15	標準貫入試験用サンプル
2	86.97	2.10	1.60	ローム	茶褐	火山灰質粘性土 軟かいコンシステンシーである。 2.1~2.2mに軽石層をはさむ 下部小礫を混入	80	10	10	10	2	1.45	
	86.57	2.20	0.10				3	1	1	1	1	2.15	
	86.57	2.50	0.30				80	10	10	10	10	2.45	
3						礫径φ10~50% , Max 70%程度である	28	10	9	9	3	3.15	
						マトリックスは粗砂及び細粒土より構成される	30	10	10	10	10	3.45	
4				砂礫	茶褐	全体に中位~密に締つて	25	7	8	10	10	4.15	
						いる	30	10	10	10	10	4.45	
5						下部は大礫多くなる	27	7	9	11	10	5.15	
							30	10	10	10	10	5.45	
6	82.67	6.40	3.90				50	27	28		6	6.15	
							15	10	5			6.30	
7						6.4m付近迄水大	70	31	39		7	7.15	
						全体に風化が進み亀裂が発達している	15	10	5			7.30	
8					暗灰	所々粘土化している	70	61	9		8	8.15	
							10	10	0			8.25	
9							70	81	39		9	9.15	
							16	10	6			9.31	
10	89.07	10.00 (3.6)					70	50	20	以下	10	10.10	
							3	8	0			10.13	

備考: ● シンワールサンプラー ○ 貫入試験用サンプラー × その他

土質柱状図 報告用紙

調査名 馬頭高等学校地質調査工事

標高

99.6.4 m 調査年月日 58年6月26日～58年6月27日

ボーリング孔：No. 7 孔 (調査深度 100.0 m) 孔内水位 なし m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験		試料採取						
				土質記号	土質名	色調	記事		深さ m	打撃回数	1.0cmごとの打撃回数	貫入量 cm	値	試料番号
1	99.14	0.50	0.50	表土(盛土)	黒褐	黒褐	コングリート片及び礫混入	4 30	1 10	1 10	2 10	1	1.15 1.45	標準貫入試験用サンプル
2	97.74 97.54 97.14	1.90 2.10 2.50	1.40 0.20 0.40	ローム	茶褐	茶褐	火山灰質粘性土 中位のコンズステンシー 1.9~2.1mにかけて礫石 層を挟む 下部に礫を混入	5 30	1 10	2 10	2 10	2	2.15 2.45	
3							礫径約5~80%程度 マトリックスは粗粒砂及び 細粒土よりなる	29 30	8 10	10 10	11 10	3	3.15 3.45	
4				砂礫	茶褐	茶褐	礫は風化している 全体に密な相対密度であ る 下部は大礫多くなり希に 玉石を混入	41 30	12 10	18 10	16 10	4	4.15 4.45	
5								31 30	7 10	11 10	12 10	5	5.15 5.45	
6	98.24	8.40	3.90					50 0	玉石を当りリバンド			6	6.15 0	
7							0.4m付近にて逸水大 全体に風化著しくコアは 角礫状となる	70 16	34 10	36 6		7	7.15 7.81	
8				風化岩 (頁岩)	灰茶褐	灰茶褐	上部細粒土が多い	70 9	70 9			8	8.15 8.24	
9								70 18	29 10	41 8		9	9.15 9.23	
10	89.64	10.00	(3.6)					70 0	リバンド			10	10.00	

備考:

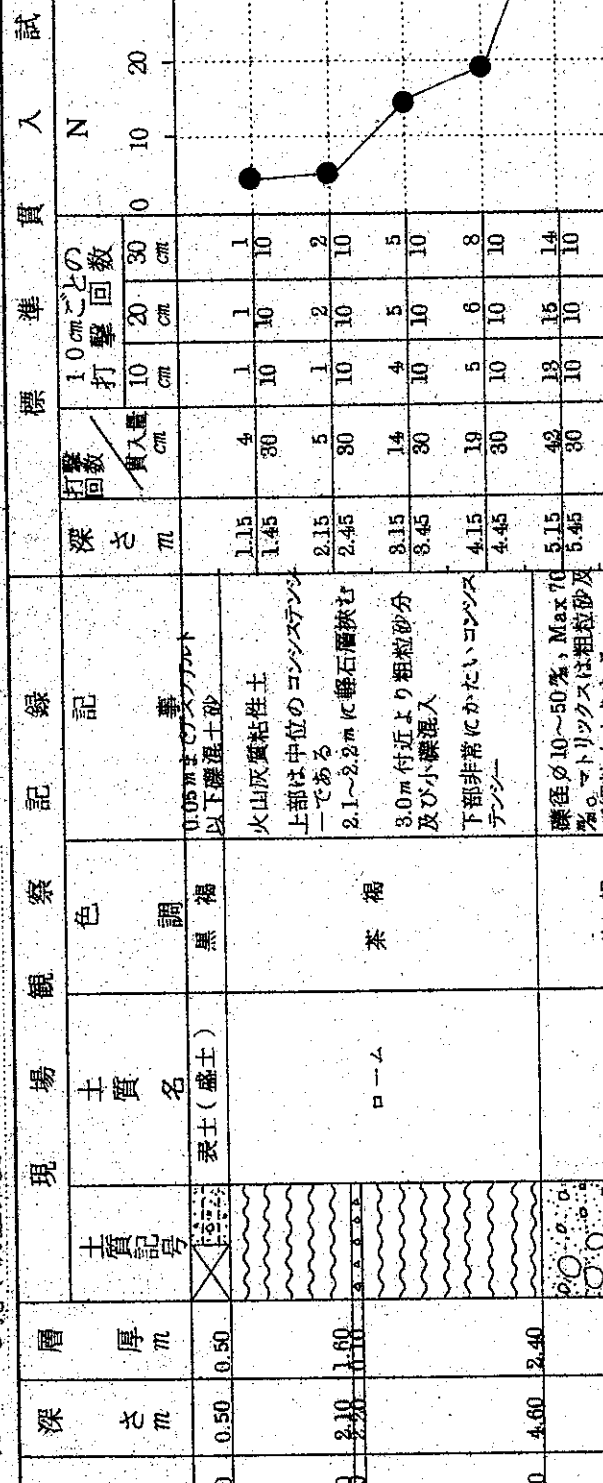
試料採取方法の記号

● シンタールサンプル ○ 貫入試験用サンプル × その他

土質柱状図 報告用紙

調査名 馬頭高等高校地質調査工事 標高 99.50 m 調査年月日 58年6月17日~58年6月21日
 ボーリング孔: No. 8孔 (調査深度 100.0 m) なし m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験				試験採取			
				土質記号	土質名	色調	記	深さ m	打撃回数		1.0mごとの打撃回数	N	
1	99.00	0.50	0.50	表土(盛土)	黒褐	0.05m以上のフラット 以下礫混入砂	4	10	1	1	1	1.15	採取方法
2	97.60	2.10	1.60	ローム	茶褐	火山灰質粘性土 上部は中位のコンシステンシー である 2.1~2.2mに軽石層挟む	5	10	2	2	2	2.15	
3		4.60	2.40			3.0m付近より粗粒砂分 及び小礫混入	14	10	5	5	5	3.15	
4		4.60	2.40			下部非常に細かいコンシ ステンシー	19	10	6	8	8	4.15	
5		4.60	2.40			礫径の10~50%、Max 70% 。マトリックスは粗粒砂及 び細粒土よりなる	42	10	15	14	14	5.15	
6		6.70	2.10			密~非常に密に締つてい る	50	28	28	2		6.15	
7		6.70	2.10			全体に風化が進み亀裂が 発達している	70	70	5			7.15	
8		10.00	(3.3)			所々非常に硬い	70	70	5			7.20	
9		10.00	(3.3)			希に粘土化している所あ り	70	70	5			8.00	
10		10.00	(3.3)				70	70	7			8.00	
11							7	7	7			10.15	



備考: 試験採取方法の記号

● シンワールサンプラー ○ 貫入試験用サンプラー × その他